

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
ADCP観測および流況解析に基づいた浮子流観データの検証と河川計画への反映(研究期間: H21年~H23年)	高知工業高等専門学校 岡田 将治	B
<p><研究概要></p> <p>ADCP観測データの精度評価手法の基礎技術を確立するとともに、四万十川において5000m³/s規模の洪水観測を行い、実測した流況を再現する3次元流況解析モデルを構築した。さらに、浮子流観データの精度評価手法を提案し、近年の大出水時の観測データに適用した結果、浮子を用いた手法でもピーク付近の流量は十分な計測精度を有すること、浮子観測区間の修正により、さらに計測精度が向上することを示した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、ADCPによる現地観測と流況解析を組み合わせて浮子流観の精度評価を行ったものであり、出水時の流れを詳細に把握するとともに、現状観測の誤差を明らかにしていることから、研究目的は概ね達成され、十分な研究成果があったと言える。</p> <p>今後は、観測結果について吟味するとともに一般性、背景の考察等を進めることを期待する。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い